

全国損害保険代理業政治連盟 2021年度 臨時代議員会 議事録

【日 時】 2021年6月11日(金) 13:00 ~ 13:55

【会 場】 日本代協会議室

東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル3階321区

上記会議室において、WEB回線およびWEB会議用装置からなるWEB会議システムを用いて、通常代議員会を開催した。

【出席代議員数】 代議員60名(総代議員数60名に対し、2分の1以上である)

冒頭、小平高義会長より以下の挨拶があった。「日頃は全国各地で活発な政連活動を展開いただき感謝。コロナ禍は収まることなく、今回も画面を通してとなることをご容赦願いたい。政治連盟は1月から12月が年度となっており、本日の臨時代議員会はこちらまでの中間報告、一部役員の交代、国政選挙への対応について審議いただくこととなっている。第49回衆議院議員総選挙は解散の有無を含め菅総理の腹一つであり、遅くとも10月21日までに行われる。日頃からの関係構築が大切であり、『代協の理念を理解し、その活動を応援してもらえ』『金融・保険に強く、我々の要望に対し動いてもらえ』『財務省・金融庁等中央官庁出身で将来性がある』等が特に望ましい議員候補者である。各都道府県において組織的に推薦候補者を検討いただき、早めの報告をお願いしたい。話は変わり、1979年1月1日、日本代協の前身である全代連ニュース創刊号に『全代連と全政連とは表裏一体の関係にあり、社団法人としてはできない政治活動を全政連によって積極的に行い、政治力の導入によって我が損保代理業の積年の願望を達成せんとするものである』という記事がある。1980年7月20日の政治連盟ニュースでは『今年度の政治連盟の方向』として、5つのターゲットの強力な推進、日本代協事業への全面協力、顧問議員との連携プレーの強化、事務局運営の効率化と会費納入の効率化、鳩山威一郎日本代協後援会の結成と運営の5つを掲げている。この中で『5つのターゲット』とは、『損保協会との協議体制』『不公正募集の排除』『共済対策』『単種目代理店問題』『保険審議会への代表派遣』。いずれも日本代協のスローガンの原型となったものであり、政治的に解決をしていかなければならない課題ばかりであるが、諸先輩方の努力によって進展・解決を見せた事項もある。その後時を経て、日本代協は『活力ある代理店制度等研究会』を通じ、保険会社と心ある対話を続けてきている。一方の政治連盟は損保協会とも連携し、政治の力を通じて損保業界としてあるべき形を課題解決してきている。このように昔も今も消費者・契約者のため、損保業界のため、損保代理業のため、日本代協と全国損害保険代理業政治連盟は一体となり、一つひとつの課題解決に向け邁進する団体でありたいと思っている。」

次に、小平会長が「上記のとおり代議員の出席があったので、連盟規約第20条の規定により通常代議員会が有効に成立した」旨を報告し開会を宣言した。なお、WEB会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表

明が互いにできる状態になっていることが確認されて議事が進行された。

小平会長は議長を選出を総会に諮り、出席者の中から磯利二氏（東京代議員）を選任し、同氏も承諾の上、議長席に着いた。議事に先立って、議長は代議員会の承認を得て、議事録署名人として、塩野忠氏（埼玉代議員）、小口泰伸氏（千葉代議員）の両名を指名選任し、次いで議案提案の存否を総会に諮り、提案のないことを確認した後、議案の審議に入った。

第1号議案 2021年1月～4月「業務報告」承認の件

野元専務理事より、2021年1月～4月に実施した「理事会・代議員会」、「活動の概況」、「ゆうちょ銀行の個人向け貸付業務認可申請に伴う損害保険募集業務認可申請に対する意見表明」について報告がなされた。緊急事態宣言発令等により、「政治セミナー・会合への出席状況」は、東京開催＝2回（前年4回）、地方開催＝3回（前年8回）となった。また、その他の活動として、参議院・広島県選挙区再選挙、長野県選挙区補欠選挙に伴う懇談対応が報告された。

議長は、報告に基づき本議案を通常代議員会に諮ったところ、原案どおり決議承認された。

第2号議案 2021年1月～4月「会費入金状況報告、会計報告」承認の件

野元専務理事より、2021年1月～4月の会費収入額が588,000円、支出総額が3,152,000円、収支差額がマイナス2,564,000円となったことが報告された。

「都道府県別会費ガイドラインの決め方について、各指標の按分割合を見直すべきでは」という質問があり、小平会長ならびに野元専務理事から「今は京都方式が全都道府県に行き渡るまでの過渡期であるとともに累積未納金の問題もある。都道府県ごとに事情も異なるので、一つひとつ課題を解決しながら見直しも検討していきたい」という回答がなされた。

議長は、報告に基づき本議案を通常代議員会に諮ったところ、原案どおり決議承認された。

第3号議案 2021年度「国政選挙対応」承認の件

大塚理事選挙対策委員長より、参議院広島県選挙区再選挙において、西田英範候補者（自民党公認）を推薦したが、当選を果たすことができなかったことが報告された。第49回衆議院議員総選挙（9月30日自民党総裁任期満了、10月21日衆議院議員任期満了）に対し、「具体的な選挙運動の流れ」、「選挙運動に当たっての留意事項」、「都道府県別支援議員名簿」について説明がなされた。

議長は、報告に基づき本議案を通常代議員会に諮ったところ、原案どおり決議承認された。

第4号議案 役員選任の件

小平会長より、2021年6月18日付で杉本恭三監事が退任し白石雅一監事が就任すること、2021年7月1日付で小見隆彦常務理事が退任し工藤琢哉常務理事が就任することが提議され、2021年7月1日付の役員体制を下記のとおりとすることが報告された。

<役員体制>

○理事

- | | |
|------|-------|
| ・会長 | 小平 高義 |
| ・副会長 | 小澤 正志 |

- ・選挙対策委員長 大塚 昭彦
 - ・専務理事 野元 敏昭
 - ・常務理事（事務局長） 工藤 琢哉
- 監 事 津田 文雄
白石 雅一

議長は、報告に基づき本議案を通常代議員会に諮ったところ、原案どおり決議承認された。

WEB 会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態が保たれ、終始異状なく議案の審議を終了したので、議長は、全国損害保険代理業政治連盟「2021 年度通常代議員会」終了を宣し、13 時 55 分に閉会した。

ここに、通常代議員会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名捺印する。

2021年6月16日

議 長 磯 利二 

議事録署名人 塩野 忠 

議事録署名人 小口 泰伸 